学校番号	1301

令和８年度　地歴公民科

教科	地理歴史	科目	歴史探究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	担当者による作成プリント・ＤＶＤ・タブレット						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

視聴覚教材や ICT 機器を用いて講義を行う。また、必要に応じてフィールドワークや調べ学習、などをグループで協働して行い、他者と協力することも主題とする。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
資料や図から様々な情報を適切に理解し、まとめることができる。
【思考力、判断力、表現力等】
日本史を中心として世界史と日本史を横断的に学び、自分が生きている時代との関連について深く考察することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
義務教育段階の知識を活用し、人類の歴史について考察し、これからの社会に役立てようとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取った図表などにまとめたりしている。 ・インターネットでの情報集めや、地図や地理情報システム等の活用をする。 ・日本の歴史が世界の一つとして成り立っていることを認識して、伝統や文化について深く理解する。	・日本の歴史にまつわる事象について考えを巡らせ、伝統や文化、年代といった幅広い分野から現代とのつながりを考える能力をつちかう。 ・過去の歴史の展開から課題を見つけて、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し公正に判断して、構想を練り、調べた内容を第三者にわかりやすく説明し、過程や結果を適切に表現する。 ・国際社会の変化を踏まえ、議論を交わす。	・用意された答えを覚えるのではなく生徒自身が興味・関心のあるテーマで学習を、主体性を持って学習を進めている。 ・日本を深く理解することで他国への尊重が強くなるといった人間性をつちかう。 ・我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的にいき、国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
ステージ1	○原始・古代の世界	○日本文化の黎明 ・各地域の文明の成立 ・ヨーロッパ古代文明 ・日本の文化 ○国家の形成と大陸文化 ・中国の古代文明 ・邪馬台国とヤマト政権	a: 考古資料が持つ多様な意義を理解する。これまで学習した多様な種類の資料について、学ぶ事象に応じ適切な資料を用いることができる。 b: 日本列島形成の過程と大陸文化の需要について様々な資料から考察し、表現できる。 c: 歴史とは資料をもとに叙述されるものであることを理解し、歴史への関心を持つことができる。	確認テスト	レポート ワークシート	授業プリントの取り組み
		○古代国家と文化の発展 ・唐の成立と発展 ・律令国家へ向けて ○貴族政治の展開 ・荘園の展開 ・摂関政治の展開	a: 古代国家が形成される過程についての知識を身につけ、理解する。貴族文化が登場するまでの歴史的な推移に関する知識を身につけ理解している。 b: 大陸文化の需要から政治・文化の国内変容について様々な資料から考察し表現できる。 c: 歴史を学ぶことの実践を通じて、歴史を学ぶ意義を説明できる。	確認テスト	レポート ワークシート	授業プリントの取り組み
ステージ2	○中世の世界　○近世の世界	○武家社会の形成 ・平氏政権と鎌倉幕府 ・元寇と鎌倉幕府の動揺 ○アジア諸国の繁栄 ・モンゴル帝国の盛衰 ・明の統一	a: 武家政権の成立とともに変容した中世の社会情勢についての知識を身につけ、理解する。 b: 武家政権の成立過程と、大陸との 交流の変化について、その相互的関連を考察し、表現できる。 c: 歴史を学ぶことの実践を通じて、権力構造の変遷を把握することができる。	確認テスト	レポート ワークシート	授業プリントの取り組み

	○近世の世界	○武家社会の展開 ・建武の新政 ・室町幕府の成立 ・南北朝の統一と対外関係 ○武家社会の展開 ・応仁の乱 ・戦国大名の成長	a: 武家政権が持つ論理によって下克上の風潮が生まれたことについて理解する。 b: 武家政権の変遷と下克上の風潮が文化にも多様な影響を与えたことについて考察し、表現できる。 c: 歴史を学ぶことの実践を通じて、政治権力が二重に存在することの意義を理解する。	確認テスト	レポート ワークシート	授業プリントの取り組み
ステージ3	○近世の世界	○大航海で結びつく世界 ・イスラームの拡大とヨーロッパの変化 ・大航海時代の幕開け ・東アジアの貿易と南蛮人 ○統一政権の確立 ・ヨーロッパ人の来航 ・織豊政権の展開 ○幕藩体制の確立 ・江戸幕府の成立 ・鎖国体制の確立	a: 幕藩体制についての知識を身につけるとともに、その構造を理解する。 b: 幕藩体制に対する理解を通じ、江戸幕府の支配が長期にわたった理由を考察し、表現できる。 c: 歴史を学ぶことの実践を通じて、武家政権の中から戦いのない社会が実現した理由を探ることができる。	確認テスト	レポート ワークシート	授業プリントの取り組み
	○近世の世界	○幕藩体制の動揺 ・享保の改革 ・百姓一揆と打ちこわしの増加 ・寛政の改革 ・天保の改革 ・近代への道	a: 日本における近世社会の成熟と、世界史上の産業革命及び欧米のアジア接近の過程を学び、近代に至る政治、社会、経済の一大変化を理解する。 b: 幕府による支配構造の中で民衆が果たした役割を理解し、そこから現代に通ずる問いを考察することができる。 c: 歴史を学ぶことの実践を通じて、政権が抱える制度的な矛盾について言及することができる。	確認テスト	レポート ワークシート	授業プリントの取り組み

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度